

生産ラインに導入する AIによる画像・動画解析 入門セミナー

対象

- 生産管理部門の担当者 ● 品質管理部門の担当者
- 工場長や生産ラインマネージャー
- データ分析やAIに関心のあるメンバー
- 技術革新やデジタル化を推進するリーダーシップ層

ねらい

- ・ AI技術を活用した不良品検出とその重要性の理解を深める。
- ・ AIによる不良品検出の具体的な手法とその効果を理解する。
- ・ AI導入による生産ラインの最適化と効率化の方法を学ぶ。
- ・ AI技術の導入における成功事例を学び、適用可能な要素を抽出する。
- ・ AI導入に向けた戦略やアクションプランの検討を促進する。

POINT

- POINT 1** AIとデータ分析の基礎：AIとは何か、どのようにデータ分析に活用できるのかを理解するための基礎知識を学ぶ。
- POINT 2** AIを用いた不良品検出：AIがどのように不良品検出を改善し、品質管理を強化するのかについて学ぶ。
- POINT 3** 導入事例：AI技術を生産ラインに導入した企業の成功事例を学び、その適用方法を理解する。
- POINT 4** 導入の検討：AI技術を自社の生産ラインに導入するための具体的なステップと、その際に注意すべきポイントを理解する。

このような方に
おすすめ！



- ・ 生産効率と品質管理の改善に関心がある。
- ・ AIとデータ分析を生産ラインに活用したいと考えている。
- ・ 不良品の発生原因を特定し、予防策を講じたい。
- ・ 生産プロセスに関連する課題を抱えている。
- ・ 経営者やマネージャーの方で、技術革新を通じてビジネスの競争力を強化したいと考えている。

プログラム

[時間] 10:00 ~ 17:00 (昼食時間 12:00 ~ 13:00)

- ・ 画像・動画に対してAI処理で出来ることを理解し、簡単な体験を通して、生産工程にAIを組み入れる方法を想起する。
- ・ ワークショップの中では、生産工程実務を想定したAI活用を行う際に、どのような分析、データ、システム、組織等が必要かを想起する。
- ・ ワークショップを行う中で、自社内での実務に落とし込む方法を考えてもらう。

イントロダクション 自己、会社紹介

不良品検知／稼働状況把握のための動画解析 活用事例

1. 一般的な動画解析の流れ
2. 不良品検知の歴史／稼働状況把握の歴史
3. 不良品検知のレポートリー／稼働状況把握のレポートリー
4. 一不良品検知の具体手順 (教師あり / 教師なし)
／稼働状況把握の具体手順

昼からの予定の紹介

1. ワークショップ内容の紹介
2. チーム分け発表

開催日時

2024年10月23日水

[時間] 10:00 ~ 17:00

形式

Zoom による
オンラインセミナー

講師 (敬称略)

アポロ講師陣

畠田 洸一

博士課程卒業後、日本学術振興会のポスドクとして、数学の研究者を2年ほどやったのちに、大手コンサルティングファームにて、AIモデル構築などの案件を4年ほど経験。これまで多く関わってきた業界としては、卸売業界、エネルギー業界など。

参加料 (税込)

● 法人会員...62,700円/1名

● 会員外...74,800円/1名

チームディスカッション

1. 本日チーム演習のお題・チーム分け発表
2. チームディスカッション
それぞれの会社の課題、人材データ活用状況

体験演習

候補者1名1名で画像認識実務を体験
(手順通りの操作の実行)

ワークショップ

与えられた課題に応じた必要な分析イメージの想起

ワークショップ

実行するためのデータ、システム、アルゴリズムなどの課題や解決策

各チームの発表⇒講評

クロージング

※プログラムは変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

